

森っこクラブ通信 2025年 春休み号

「遊びはこどもの主食です」これは社会福祉学者で学童保育界でも活躍されている増山均さんの言葉です。こどもの時代に存分に遊ぶ事の大切さ、そして遊びからの経験・学んだ事が「本当の生きる力」を育むという意味で、森っこで大切にしている言葉です。



「はじめましての会」

お互いに緊張しつつ、自己紹介し合っていました。



各校1年と、「学校～森っこ通所ルート」を歩きました。

「この道を通るんだよ」「ここは車に気を付ける所だよ」付き添ってくれた上級生達が教えてくれました。頼もしい。



日々の中でも一緒に遊んでコツやルールを教えてくれたり、「あの子にはこの言葉が伝わるよ」と情報共有もしていました。職員は大きい人達の頼もしさを嬉しく思い「ありがとう」と声をかけますが「そんなんじゃないし」と途端にやらなくなる姿は、思春期ならではなのだとも感じます。「頼む」とやってくれないけど「自らやってあげよう」とするその気持ち、ありがとう。1年生だけじゃなく、大きい人達もまた一つ育ったんだなぁと嬉しくなります。



おめでたい♪「南京玉すだれ保存会」の方が来てくださいました。初めて見る伝統芸能に興味津々のこども達。ありがとうございました。

